などに第二性徴が認められることを指摘してある。

3. 宮崎惇――アキトツチカニムシの採集――採と飼 **15-1**：15-16
岐阜県赤坂町の金生山頂近くで入手のシロナミギセルの死殻中にアギトツチカニムシ *Tyrannochthonius japonicus* (Ellingsen) の潜んでいるのを見出した。土中にいつもいるものではないことを記してある。

4. 関口晃一――クモの重複畸形の過剰肢――同上 26-27，3 図
クモの重複畸形は天然には中々現れないらしい。併し関口氏はアシダカグモの重複畸形卵，ジョロウグモの重複畸形卵，過剰肢を持つイエオニグモの幼蛛に遭遇し夫々を図示記載してある。

5. 江崎悌三　他――大隅採集旅行記――新昆虫 **6-4**：32-45
p. 40 に大隅半島尾波瀬の洞窟に中根猛彦氏がサソリモドキを捕えた時のことが面白く書いてある。口絵にこの時の記念撮影（本誌前号に掲出のと同じもの）及び朝比奈氏が東京の予研昆虫部に生かして持ち帰つたものがゴキブリを捕食しているところの写真が出ている。p. 45 のサソリモドキの学名がひどく古めかしいのはどうしたものであろう。

6. 白畑孝太郎――シロスジコガネのダニ寄生――同上 **6-4**：46
山形県の海岸地帯でのシロスヂコガネに寄生するダニ 1 種の寄生頻度や寄生部位についての小記。

7. 秋田一貫――ヒゲコガネのダニ寄生――同上 **6-6**：48
三重県のヒゲコガネに多数寄生。クロシデムシにもつく。
(編者申す) 1952 年度分，1953 年度分は抄録が大変遅れまして申訳ありません。未載録の分は総べて次輯に揭げます。尚ダニ関係のもの，志ある御方の御協力を希望してやみません。

蜘　蛛　雑　記

1. 349 日間絶食したユカタヤマシログモ

1 頭のユカタヤマシログモ *Scytodes thoracica* Latreille の♀を，直径 13 mm，長さ 90 mm の管瓶に入れて（コルク栓を施す）飼育中，1946 年 11 月 11 日筆者の入院のごたごたで忘れたままに放つて置かれた。翌 1947 年の 10 月 14 日に管瓶を使ふ

目的で出して見た所，死んだものと思つて居た蜘蛛がまだ生きて居るのに驚かされた。その間何も喰わずにコルク栓を施した管瓶の中で338日間も生きていたわけである。さつそく蠅を与えてやつたが一向喰わうともせず 349 日目の 10 月 25 日に絶命した。

此の蜘蛛が入つて居た管瓶は，1946, xi. 11～1947. iii. 30 の間は溫突の部屋に，iii. 31～x. 14 の間は物置きに，x. 14 以後は再び溫突の部屋に保管されて居た。

2. コガネグモの卵寄生蠅

筆者が倉敷の大原農業研究所で各種の蜘蛛の卵囊を調査して居たときのことである。1 個のコガネグモの卵囊を開いて見た所長さ 13 mm の蛆が盛んに蜘蛛の卵を喰つて居た。早速濕した砂を半分程入れた高腰シャーレに入れて蓋をして置いた所，卵を喰い盡し充分成長した蛆は砂の中に入つて蛹化し，間もなく *Sarcophaga* 属 (Sarcophagidae) の大きな蠅が 1 匹羽化出現した。ニクバエ *S. carnaria* L. の様に思つたが念の為め專門家の同定を仰ぐつもりで保管して居た標本が破損してしまつたので結局正確な種名はわからずしまいだつた。

岸田〔岸田久吉 クモタマゴバエ（食蛛卵蠅）に就て，Acta Arachnol., II, 3, pp. 90～94, 1937〕に依れば日本の蜘蛛卵寄生蠅は Phoridae（ノミバエ科）及び Chloropidae（キモグリバエ科）の蠅であるとのことであるから筆者が観察した *Sarcophaga* sp. は蜘蛛卵寄生蠅としては日本で初めての例ではないかと思う。 (白甲鏞)

朝鮮欝陵島の多足類 3 種

今年 3 月在大邱の白甲鏞氏が航空便で朝鮮の多足類標本を送つて下さつた。御親切を深く謝するものである。それは昨年 (1952) 8 月 14 日に李万正という御方が欝陵島で採集したものでムカデ，ヤスデ合せて 5 個体あつた。この島は一名松島ともいい今の南鮮の東方日本海洋上にあり戰前は行政上慶尙北道に属していた。高桑先生に伺うにこの島の多足類は調べたことがないと仰しやるし文献にも見出し得ないので，僅かな種類ながら又その何れもが朝鮮から既知のものであつたけれども，ここに記録して置く価値ありと考える。標本は次の 3 種であつた。

1. ヤケヤスデ *Orthomorpha gracilis* (C. L. Koch, 1847) 1♂ 2♀♀
2. トビズムカデ *Scolopendra subspinipes mutilans* L. Koch, 1878 ♂ (幼)
3. ヨシイツスンムカデ *Bothropolys yoshidai* Takakuwa. 1939 ♀ (高島春雄)

サソリで害虫退治

昭和 27 年 12 月 1 日附の朝日新聞に ＡＦＰ 提供の記事として「エジプト政府では